

ー平成28年度第3回埼玉県健康福祉セミナーの御案内ー

超高齢社会における終末期医療の現状と課題

～ 「自分らしい最期」を迎えるために ～

1 目的

団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、人生の終焉をどう迎えるか、一人一人が、自分で自分らしい生き方・死に方を考えることが求められています。在宅医療の重要性が高まる中、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けるために、行政や医療・介護施設において必要となる取組みや課題について考えます。

また、本人の意思・QOLを尊重した「自分らしい最期」を迎えるためには、関係機関でどのような連携が必要か、本人が準備しておくべきことは何か、実際に地域に根付いた在宅医療・終末期医療を実践している講師の皆様に御講演いただき、専門職・行政職として理解を深め、今後の事業展開や多職種連携に生かすことを目的とします。

2 対象

- ・県職員、市町村職員
(特に保健医療・介護福祉関係課所、保健所、保健センター、職員等)
*他部局の職員も参加可能です。
- ・県内医療・介護・福祉施設職員等

3 日時

平成29年3月23日(木) 13:30～16:30

皆様のご参加を
お待ちしております!

4 場所

浦和コミュニティセンター 第15集会室 (定員120名)
(さいたま市浦和区東高砂町11-1 9階 JR浦和駅東口徒歩1分)



埼玉県のマスコット コバトン

ープログラムー

13:30～13:35	埼玉県保健医療部 あいさつ
第1部：「自分らしい最期」を迎えるために ～ ケアタウン小平の取組み ～	
13:35～15:05	講師 山崎 章郎 氏 (在宅療養支援診療所 ケアタウン小平クリニック 院長 特定非営利活動法人 コミュニティケアリンク東京 理事長) 住み慣れた地域、住み慣れた住まいで、最後まで自分らしい暮らしを安心して続けられる地域社会の創生を目指して、在宅での専門的なホスピス緩和ケアの提供をはじめ、訪問看護ステーションやデイサービスセンター、居宅介護支援等の事業を行っている、「ケアタウン小平チーム」の先進的な取組みについて御講演いただきます。
15:05～15:15	質疑応答
15:15～15:25	休憩

第2部：県内の終末期医療の現状・活動報告	
15:25～16:25	<p>1. 「埼玉県の訪問看護ステーションにおける在宅医療・終末期医療の現状と課題」</p> <p>講師 中島 悦子 氏 (埼玉県訪問看護ステーション協会 会長)</p> <p>2. 「自分らしく生きるために ～ホームホスピス「きりんの家」与野本町の活動紹介と今後の課題・展望～」</p> <p>講師 平蔵 見子 氏 (特定非営利活動法人 きりんのゆめ 代表理事)</p> <p>訪問看護ステーションの立場からみた県内の在宅医療・終末期医療の現状と、さいたま市内で初のホームホスピス「きりんの家」の取組みについて御報告いただき、埼玉県における終末期医療の現状と今後の課題について考えます。</p> <p>また、最後まで住み慣れた地域で自分らしく生きるために、終末期に向けて一人一人が準備しておくべきことは何か考えます。</p>
16:25～16:30	質疑応答

5 主催

埼玉県保健医療部保健医療政策課

6 申込み

埼玉県保健医療政策課あて、平成29年2月28日（火）までに、所属・職名・氏名を明記の上、メールまたはFAXを送付してください。(別紙回答様式をお使い頂けます。)

問合せ：埼玉県保健医療政策課 研修・国際協力・免許担当
(電話) 048-830-3519

■メール宛先 a3510-11@pref.saitama.lg.jp

■FAX番号 048-830-4800

別紙回答様式

平成 年 月 日

埼玉県保健医療部保健医療政策課 宛
(研修・国際協力・免許担当 扱い)

所 属

平成28年度第3回埼玉県健康福祉セミナー出席者について

(3月23日開催)

記

担当部署等	職名	職種	氏名	氏名フリガナ
例)〇〇課	係長	保健師	埼玉 彩子	サイタマサイコ

講師への質問がある場合は、御記入ください。

御質問
(回答を希望する講師がいる場合：)

担 当：

電 話：

E-Mail：